



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年12月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 大和 竜一 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の業績（平成26年5月16日～平成26年11月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年5月期第2四半期 | 9,079 | 3.2 | 442 | 5.7 | 464 | 6.5 | 271 | 12.7 |
| 26年5月期第2四半期 | 8,795 | 3.0 | 418 | 10.2 | 436 | 10.4 | 240 | 7.2 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年5月期第2四半期 | 93.39 | — |
| 26年5月期第2四半期 | 82.88 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年5月期第2四半期 | 8,677 | 5,543 | 63.9 | 1,909.54 |
| 26年5月期 | 8,339 | 5,351 | 64.2 | 1,843.14 |

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 5,543百万円 26年5月期 5,351百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年5月期 | — | 0.00 | — | 27.00 | 27.00 |
| 27年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年5月期（予想） | — | — | — | 27.00 | 27.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年5月16日～平成27年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,976 | 3.4 | 1,070 | △5.7 | 1,103 | △5.3 | 584 | △3.6 | 201.43 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 27年5月期2Q | 2,903,600株 | 26年5月期 | 2,903,600株 |
| 27年5月期2Q | 326株 | 26年5月期 | 326株 |
| 27年5月期2Q | 2,903,274株 | 26年5月期2Q | 2,903,302株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀による経済政策や金融政策により、緩やかな回復の兆しがみられるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や、海外景気の下振れなどの懸念もあり楽観視できない状況となっております。

外食産業におきましては、一部に消費者マインドの回復がみられるものの、消費税率引き上げ後の影響と夏場の天候不順、円安などによる原材料価格の上昇により、先行きについては予断を許さない状況となっております。

このような環境下、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私たちの使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、良質な商品の提供と店舗のサービス及び清潔感向上に専念し、全社一丸となってお客様に愛される店舗作りに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間において、武蔵小金井店(平成26年7月)を新規に出店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は84店舗となりました。

販売促進につきましては、評判の「番屋ちらし」や、生スジコを店内調理した「いくら」商品の販売などの銚子丸らしい商品の拡充と、時節の食材によるイベントを継続的に開催し、お客様からご好評をいただきました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は90億79百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は4億42百万円(同5.7%増)、経常利益4億64百万円(同6.5%増)、四半期純利益は2億71百万円(同12.7%増)となり、増収増益となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ3億37百万円増加し、86億77百万円(前事業年度末比4.0%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ3億94百万円増加し、58億33百万円(同7.3%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加2億80百万円、原材料及び貯蔵品の増加71百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ57百万円減少し、28億43百万円(同2.0%減)となりました。これは主に減価償却による店舗設備の減少によるものです。

(負債・純資産)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億44百万円増加し、31億33百万円(前事業年度末比4.8%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億61百万円増加し、25億29百万円(同6.8%増)となりました。主な内訳は、買掛金の増加1億57百万円、賞与引当金の増加51百万円、短期借入金の増加48百万円及び未払法人税等の減少96百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ16百万円減少し、6億3百万円(同2.7%減)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1億92百万円増加し、55億43百万円(同3.6%増)となりました。主な内訳は、当第2四半期累計期間の四半期純利益2億71百万円及び第37期期末配当金の支払78百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億80百万円増加し、48億69百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4億39百万円(前年同期は4億48百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益4億64百万円、減価償却費1億25百万円、仕入債務の増加額1億57百万円による資金の獲得及び、法人税等の支払額2億88百万円による資金の使用によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億2百万円(前年同期は1億42百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出97百万円による資金の使用によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は57百万円(前年同期は90百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純増48百万円による資金の獲得及びリース債務の返済による支出26百万円ならびに配当金の支払額78百万円による資金の使用によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高189億76百万円、営業利益10億70百万円、経常利益11億3百万円、当期純利益5億84百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き寿司業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第38期(平成26年5月16日から平成27年5月15日まで)の新規出店数は、5店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年5月15日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年11月15日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,996,947 | 5,277,074 |
| 売掛金 | 35,830 | 63,739 |
| 原材料及び貯蔵品 | 121,911 | 193,095 |
| その他 | 284,339 | 299,792 |
| 流動資産合計 | 5,439,027 | 5,833,701 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 993,404 | 989,097 |
| その他（純額） | 448,016 | 420,946 |
| 有形固定資産合計 | 1,441,420 | 1,410,043 |
| 無形固定資産 | 44,893 | 42,700 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,415,716 | 1,391,882 |
| 貸倒引当金 | △1,078 | △1,078 |
| 投資その他の資産合計 | 1,414,638 | 1,390,803 |
| 固定資産合計 | 2,900,952 | 2,843,547 |
| 資産合計 | 8,339,980 | 8,677,249 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 831,843 | 989,087 |
| 短期借入金 | 132,000 | 180,000 |
| 未払金 | 857,932 | 853,055 |
| 未払法人税等 | 307,685 | 211,659 |
| 賞与引当金 | 103,000 | 154,037 |
| 株主優待引当金 | 31,048 | 32,662 |
| その他 | 105,112 | 109,397 |
| 流動負債合計 | 2,368,622 | 2,529,899 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 177,129 | 179,878 |
| その他 | 443,079 | 423,544 |
| 固定負債合計 | 620,209 | 603,423 |
| 負債合計 | 2,988,832 | 3,133,322 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成26年5月15日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年11月15日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 315,950 | 315,950 |
| 資本剰余金 | 236,829 | 236,829 |
| 利益剰余金 | 4,799,165 | 4,991,908 |
| 自己株式 | △787 | △787 |
| 株主資本合計 | 5,351,157 | 5,543,901 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △9 | 25 |
| 評価・換算差額等合計 | △9 | 25 |
| 純資産合計 | 5,351,147 | 5,543,926 |
| 負債純資産合計 | 8,339,980 | 8,677,249 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 8,795,819 | 9,079,543 |
| 売上原価 | 3,674,189 | 3,757,952 |
| 売上総利益 | 5,121,630 | 5,321,590 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,702,940 | 4,878,848 |
| 営業利益 | 418,690 | 442,742 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,304 | 2,335 |
| 協賛金収入 | 13,570 | 15,429 |
| その他 | 5,395 | 6,789 |
| 営業外収益合計 | 21,269 | 24,554 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,596 | 1,968 |
| 現金過不足 | 955 | 589 |
| その他 | — | 45 |
| 営業外費用合計 | 3,551 | 2,603 |
| 経常利益 | 436,408 | 464,693 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 888 | — |
| 特別損失合計 | 888 | — |
| 税引前四半期純利益 | 435,520 | 464,693 |
| 法人税等 | 194,895 | 193,561 |
| 四半期純利益 | 240,625 | 271,132 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成25年11月15日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年11月15日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 435,520 | 464,693 |
| 減価償却費 | 130,652 | 125,271 |
| 建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料 | 23,201 | 25,370 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 45,472 | 51,037 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,313 | △2,345 |
| 支払利息 | 2,596 | 1,968 |
| 固定資産除却損 | 888 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 3,003 | △27,909 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 116,159 | △71,183 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 6,212 | 157,243 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △3,536 | 26,554 |
| その他 | △62,360 | △20,885 |
| 小計 | 695,496 | 729,816 |
| 利息及び配当金の受取額 | 549 | 615 |
| 利息の支払額 | △2,594 | △1,973 |
| 法人税等の支払額 | △245,048 | △288,903 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 448,403 | 439,555 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △383,855 | △383,932 |
| 定期預金の払戻による収入 | 383,767 | 383,855 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △84,993 | △97,453 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △1,990 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △7,800 | △18 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △8,184 | △5,149 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 4,921 | 2,158 |
| 建設協力金の支払による支出 | △46,000 | — |
| その他 | — | 25 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △142,144 | △102,502 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 250,000 | 300,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △230,000 | △252,000 |
| リース債務の返済による支出 | △32,396 | △26,375 |
| 配当金の支払額 | △77,720 | △78,625 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △90,116 | △57,001 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 216,141 | 280,051 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,846,989 | 4,589,823 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,063,130 | 4,869,875 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式会社オール・エフからの事業の一部譲受け

1. 概要及び目的

当社は平成26年10月15日開催の取締役会決議に基づき、同日付で株式会社オール・エフから寿司店事業を譲り受ける旨の事業譲受契約を締結しました。

当社は、グルメ回転寿司事業を展開し、これまで業容を拡大してまいりましたが、今後ますます他社との圧倒的な差別化を図る必要があると考えておりました。このため、グルメ回転寿司業態以外の「立ち寿司」事業を取り込み、事業の多角化と、江戸前寿司の味と技をグルメ回転寿司事業へ継承させ、さらなる質とサービスの向上を図り、かつ企業価値向上を図ることを目的とし、今回の店舗取得に至りました。

2. 譲り受ける相手会社の名称

株式会社オール・エフ

3. 譲り受ける事業の内容

寿司店2店舗

4. 譲り受ける資産・負債の額

資産の額は算定中です。譲り受ける資産は、棚卸資産、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産です。負債は譲り受けません。

5. 譲受の時期

平成26年11月16日 江戸前すし百萬石 新小岩店 事業譲受日

平成26年12月1日 江戸前すし百萬石 幸町店 事業譲受日